



北東中だより

甲府市立北東中学校
令和6年1月24日
文責 竜澤 規之
NO.11 (1月号)

3学期始業式 校長あいさつ

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えるとともに、3学期がスタートしました。学校では一年のまとめの時期、3年生にとっては中学校生活の総まとめの時期を迎えました。お正月は天候に恵まれ、初日の出も素晴らしかったです。今年も、家族そろって荒川の河川敷に立ち、まぶしいばかりの太陽が、力強く、ゆっくりと昇っていく様子を見て、この一年が素晴らしい年になるようにと願いました。

皆さんも連日のニュースでご承知のとおり、1日の午後、能登半島地震が起こり、情報では、1/9現在160名以上の方が亡くなり、今なお300名以上の方々の安否が分かっていないということです。また、多くの方が被災生活を送っています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りしたいと思います。「天災は忘れた頃にやってくる」の諺のとおり、日頃からの備えがあってもなお、尊い人命が奪われる、災害の恐ろしさを実感します。我々もできる限りの備えをしていきたいと思ひます。

今年は、元旦にサッカー、ラグビーなどの試合もあり、楽しみながらもゆっくりとしたお正月を迎えることができました。大好きな箱根駅伝もありました。知り合いが誰もいないのに、なぜあんなにも夢中になれるのでしょうか。不思議です。不思議ですが、いつか浴道に行って「必死」に走る選手に、大きな声で「頑張れ!」と声援したいと思ひています。

いつも思うのですが、「必死」という漢字は、なぜ「必ず死ぬ」と書くのでしょうか?縁起でもないですよ。調べてみると、「死ぬほどの覚悟で頑張る」と書いてありました。ある方から、こんなことを聞いたことがあります。「人は必ず死ぬ。だからこそ生きている今、全力で精一杯生きる覚悟で臨むべきだ」とおっしゃっていました。すごく共感しました。

「一年の計は元旦にあり」とも言われます。皆さんも、年が改まり「今年はこんなことを頑張ろう!」、「こんなことに挑戦しよう!」と、新たな目標や思いを持って、今日の日を迎えたことと思ひます。今年を素晴らしい年に出来るか出来ないか、は自分自身の努力次第です。努力を重ねること、努力し続けることを大切にしてください。

3年生は、卒業まで登校日数は、あと43日。1,2年生は進級まであと52日。いずれにしても時間は限られています。3学期は短く、あっという間に過ぎてしまいます。目の前にある「今」を「必死」に頑張ってください。すべての人にとって節目となる大切な3学期です。皆さんの力で素晴らしい3学期にしてください。



3学期の抱負(各学年代表)

「2学期の成果と課題 3学期に向けて」(1-3 土屋葉)

僕は2学期、いろいろな役職に就けたおかげでとても良い経験を得ることができました。その中で3学期に継続していきたいことが3つあります。

一つ目はみんなと協力することです。2学期は二葉祭や委員長としての仕事で多くの人と協力する場面がありました。協力したおかげで達成できたものがたくさんあり、これは成果だと思います。しかし、協力できたというのは一定の期間だけであり、それが継続することができないこともありました。そこで3学期では仲間と協力することを継続していきたいです。

二つめはみんなの意見をまとめることです。学級委員はみんなの意見をまとめる必要があります。これまで「まとめる」という仕事をしたことがなかったため上手いかず悩んだこともありますが、時間が経つにつれて少しずつできるようになりました。しかし全てが上手くいっているわけではないので3学期ではさらに力をつけられるよう努力したいと思います。

三つめは家庭学習の定着です。僕は2学期にあまり勉強をせず、「1学期に良い点を取れたからいいや」という気持ちで挑み、満足のいく点が取れませんでした。もう1年生の半分以上が過ぎたのに自分の弱さが出てとても悔しかったです。3学期では勉強の質を上げて改善したいです。

学年生徒会として考える3学期への抱負を2つ掲げたいと思ひます。

一つ目は学年の明るさを継続させることです。僕たちの学年は日々笑い声が絶えず元気よさが学年のよさでもあります。これからもみんなて声を掛け合い、お互い支え合える学年にしていきたいと思ひます。

二つめは時間に対する意識を全員で向上させることです。今でも2分前着席を意識していますが、声をかけられなくても自ら意識できることを目指します。時間を守ることは次への行動が速くなり、できることが増え、さらによい学年になっていくと思ひます。3学期は2年生になるための大事な期間なので日常生活の意識を高めていきたいです。



「3学期に向けて」(2-1 山本勇人)

僕たち青学年は、4月に学年目標「One for all, all for one!」を掲げました。「一人はみんなのために、みんなは一人のために!」この目標を達成するには、クラスや学年でお互いをカバーし合うことが大切だと思います。カバーし合うと言っても、困っているクラスや学年の仲間を見つける、見つけても声をかけて行動で表すことは難しいことです。青学年の2学期の振り返りでは、二葉祭や合唱祭を通してクラスの仲を深めることができました。しかし、クラスを超えた仲や男女の壁の課題もありました。この課題を改善していくためには、1、2学期に少しずつ改善できてきたクラスや学年の仲をもっともっとより良いものにしていかなければなりません。



3学期は、1年間のまとめをするとともに、3年生に向けて、今の3年生から学ぶ重要な期間です。行事では、3学期一番大きい行事である「三年生に贈る会」があります。初めての三贈会を迎える1年生のサポートをしつつ、3年生に感謝の気持ちを2年生一人一人が伝えられるように、学年全員で一つになることが大切です。誰かがするのを待つのではなく、自ら積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、3年生から北東中の伝統を受け継ぐという大きな仕事もあります。全校集会のときに早く移動し、黙想をして雰囲気作りをしたり、二葉祭や合唱祭でのブロック活動を運営したりと、3年生の活動をしっかり引き継いでいきたいです。3年生の卒業まで、残された時間には限りがありますが、今の3年生から、一つでも多くのことを学んでおきたいです。



僕たち2年生青学年は、団結力やサポートを大切に、3年生になることを見据えて生活していきたいです。三贈会では、新しい生徒会役員を中心に、一人一人が生徒会のメンバーであることを忘れず、団結して取り組んでいきたいです。また、目の前にあることを一つ一つ頑張ることで、3年生へのステップになると思います。お互いにサポートし合い、頑張っていきたいです。

「3学期の決意」(3-1 植田穂実)

私たち3年生は、今日から始まるこの3学期が中学校生活で最後の学期となります。そして高校生0学期とも言われている、高校に向けての準備段階にある大事な期間でもあります。そこで、私個人として次のことを心がけて、残りの中学校生活を過ごしていきたいと思います。



まず一つめは、学生の本分とも言える勉強をがんばることです。元々私は勉強がものすごく苦手で、家での自主学習などはほとんどすることがありませんでした。しかし、高校受験も間近に迫る中、どんなに苦手でも勉強をしないという選択肢はありませんでした。私がまだ得意である実技教科は受験では使われないので主に苦手な5教科を中心に、自分がちゃんと理解できるまでしっかりと問題に向き合い、諦めずにはじめは短い時間からでもどんどん長く集中してできるように頑張っ取り組んでいきたいです。

二つめは、残りの中学校生活を全力で、そして楽しく過ごすことです。私たちがこの北東中学校に通うことができるのは残りわずか40日ほどです。自分たちの今後を決めることになる受験を控えている人も多く、ピリピリした空気になってしまうこともあると思います。それでも、この3年生89人全員で過ごせる時間も限られています。卒業後にはそれぞれがそれぞれの道に進んでいくことになると思います。だからこそ、今まで以上に仲間を大切に、楽しむときには全力で楽しみたいです。そして後に振り返ったときに、楽しくて良い中学校生活だったと言えるようにしたいです。



私の将来の夢はこれと言って明確ではありません。ただ、楽しくて自分自身の力を生かすことができ、人を幸せに、笑顔にしてあげられるものがあると思っています。そのためにも、今この段階で頑張る必要があります。苦手なことにも逃げずに挑み、残りの中学校生活を仲間と共に全力で楽しみ、充実した後悔のない日々をしていきたいです。



2月の予定

1日	木	公立前期入試①
2日	金	公立前期入試②
7日	水	授業参観、学年部会総会、学級懇談
13日	火	3年期末テスト①
14日	水	3年期末テスト② 第2回学校運営協議会 第3回PTA学校委員会
20日	火	公立後期入試出願
21日	水	1,2年期末テスト①、3年直前テスト
22日	木	1,2年期末テスト②、表彰伝達式
23日	金	天皇誕生日
28日	水	専門委員会・代議員会

スクリーン導入の効果は!

3学期からスクリーン(お便り等の電子配信)を行っています。連絡漏れが減り、生徒の出欠状況も、朝の忙しい時間帯の電話でなく出欠連絡ができるので便利とお声も頂戴しています。他校での導入実績を聞くと、紙の消費量が30%削減できたとの報告もあり、今後の経費削減につながるものと期待しています。

その他、部活動の連絡、学年・学級ごとの連絡等も便利になっていくものと思います。

なお、必要に応じてお電話でも対応いたしますので、遠慮なくご連絡ください。紙配付をご要望の方は担任までお伝えください。